
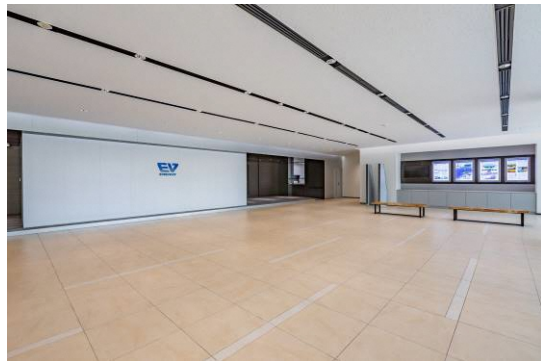
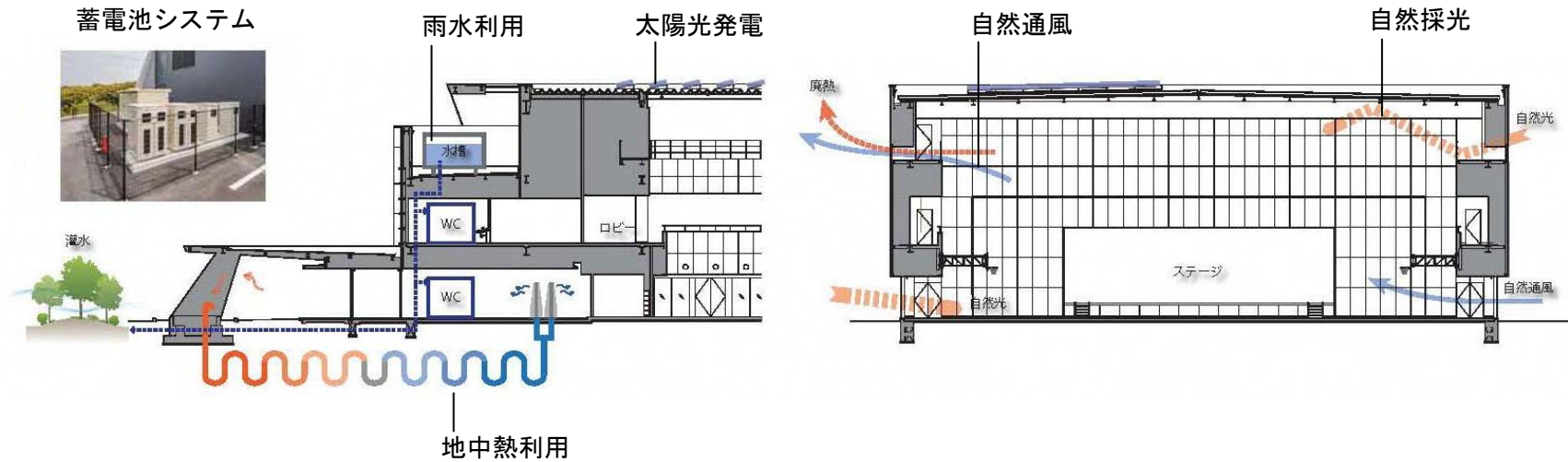


表彰対象建築物名称	PEVEアリーナ結(むすび)			<p>環境配慮の内容とその目的</p> <p>■自然エネルギーの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電 35kw を屋根に設置しています。蓄電池と併用することで通常時の消費電力を賄うだけでなく、災害時に携帯電話の充電や必要最低限の明るさを確保できます。 ・計画地の風向を考慮して東西面に自然換気を促す窓を設けました。窓の形式は体育館の高い天井を生かしたハイサイドライトと通常の掃出し窓を併用することで、効率的に換気ができると共にスポーツに支障がない自然採光をとりいれます。 ・地中熱を活用するため、クールチューブを設けています。 ・Low-E ペアガラス、LED 照明、省エネ機器、節水型器具を積極的に採用しています。 <p>■緑地の再生、樹木の再利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画地に自生していた樹木の苗を保管しておき、建物の完成後に植樹を行いました。元の生態系を維持した豊かな緑を受け継ぐ計画です。 ・樹木の一部は家具に加工し体育館のエントランスや多目的ロビー等で利用者が休憩できるようにしました。 <p>■災害時の一時避難所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に一時避難所として活用することを想定しており、衛生面で最も重要なトイレは必要個数を確保するだけでなく雨水を活用して洗浄水を確保できるようにしています。 ・避難者の拠点となるアリーナの床は保温性の高いスポーツシートを採用することで冬季の居住性にも配慮しています。
建設地	湖西市			
建築主	プライムアース EV エナジー株式会社			
設計者	大林組名古屋支店一級建築士事務所			
延べ面積	3243.57 m ²	規模	地上 2 階	
構造	S 造			
用途	体育館			
CASBEE 評価	A	BEE 値	2.8	
建築物写真				
建築主として求めた環境配慮に対する総合的なコンセプト	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギーの積極的活用 ・計画地に自生していた樹木の活用と緑地の再生 ・災害時の一時避難所として活用できる施設 			

環境配慮の内容とその目的（補足資料）



エントランスホール

地中熱を利用したクールチューブの吹出口を設けている。



多目的ロビー

既存の樹木を加工した家具を配置。



アリーナ

スポーツや集会に利用するアリーナ。床はスポーツに支障がなく保温性に優れた弾性スポーツシートを採用した。